



NEWS!

2005.6月号

発行：NPO法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク ●〒541-0046大阪市中央区平野町3-1-7大阪屋セントラルビル6F
●TEL090-8989-5182 (山口) ●年会費1口2000円 (個人1口以上、学生半口以上、団体3口以上、賛助会員 (会社) 5口以上)
●郵便振替00920-8-154437 ●<http://www.mmjp.or.jp/gcon/> ●gcon-osaka@mail.goo.ne.jp

不透明な循環型社会

2005/3/6 GCON総会記念講演・報告



講師の村井宗明氏

循環型社会を目指す前に、私達はゴミへの認識を変えなければいけないようです。

ゴミの定義は“いらぬもの”ですが、これからは“適正処分の必要なもの”ということであるべきではとの提案。

容器包装リサイクル法として、ペットボトルのリサイクル推進を国が後押しした結果、ペットボトルの普及率は上がったものの、ゴミそのものを減らすことに繋がったわけではなく、環境によいとは言えないのが現状です。また、食品、建築、自動車など、私達の生活に身近なものなどのリサイクルは徹底することが難しく、リサイクル法としての確立はまだまだ難しいとのこと。

企業は、いらなくなった後まで考えることが製品開発とし、消費者は、家電リサイクル法にみられるリサイクル料の負担という形で責任をおう、双方の意識、努力はこれからも非常に重要であります。

現在、太陽光、風力などの自然エネルギーはどんどん広がりつつあるようですが、国として、自然エネルギーの確保に努めると共に、さらなる石油資源への依存か、水素エネルギーの開発・確立かと、意見が二分されているそうです。水素エネルギーの普及のカギとなるものは“価格”にかかっているようですが、それ以前の、私達の生活改善が急務であることは言うまでもありません。

今年の2月には、京都議定書が発効され、地球環境保全活動への大きな流れが出来つつあるようですが、地球に負荷のかけることのないようにと意識せずともできる楽しい生活が、できるようになる日がくることを願います。